

今月の黒帯コラムは・・・黒帯1年生のこの方↓

佐藤昇汰（さとう しょうた）
黒帯1年生（初段）
五日市道場所属
1999年10月30日
A型
今ハマってること・・・「部屋の掃除」
黒帯になって・・・

「稽古を始め、私生活でも努力を怠らず、何事にも挑戦し、黒帯としての義務と責任を果たしていきたいです！」



押忍。五日市道場の佐藤昇汰です。

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

秋の広島県支部のイベントと言えば、東部交流試合ですね。

今回は、僕の試合体験談＋空手を辞めようかと悩んだ時期に出合った試合映像を紹介したいと思います。僕が初めて出場した大きな大会は、第8回全中国空手道選手権大会です。当時は4歳で、空手の事は何も分かっていない状況で試合に出ていました。結果は1回戦一本負けて、青帯の男の子にボコボコにされたのを覚えています。あれから早13年の月日が流れました。少年部時代を振り返ると、沢山の試合に出場し、沢山負けて、沢山泣いた記憶があります。少年部の頃、まだ身体が小さく気弱だった僕は、中々勝つ事ができず、空手の事が嫌になり、辞めたいと思った時期もありました。そんな時に、1つの試合のビデオを見ました。その試合は1998年の第30回全日本空手道選手権大会、ギャリー・オニール選手vsピーター・サビッキー選手の試合です。

この試合の映像を見たとき、こんな相手が人間にできるのかと驚き、今まで感じたことのないワクワクした気持ちになりました。僕も2人のようになりたいと憧れの念を抱くようになり、もう一度頑張ろうと思いました。

それ以来、空手に今まで以上の興味を持って取り組み、様々な経験をして、黒帯を取得することが出来ました。

今の僕の目標は、全日本大会に挑戦し、2人の選手のように観客を魅了し、過去の僕のように悩んでいる人たちに勇気を与えられるような存在になりたいと思っています。辛い時こそ胸を張って、挑戦する気持ちを忘れず、日々稽古に励みましょう。一番辛い道を進むのが、一番の成功の近道。